



大垣市政・経済記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年10月14日（水） 岐阜県発表資料			
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画課企画連携係	成瀬	直通 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420

【参加者募集】関ヶ原研究会情報発信事業特別企画 「黒田基樹×柴裕之～秀吉・秀長兄弟から関ヶ原へ～」を開催します

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」という。）では、令和5年10月に発足した関ヶ原研究会の情報発信事業特別企画として、大河ドラマ「豊臣兄弟！」（NHK）の時代考証を務める駿河台大学教授の黒田基樹氏^{くろだもとき}及び東洋大学非常勤講師の柴裕之氏^{しばひろゆき}による講演をそれぞれ開催するほか、歴史タレントで関ヶ原観光大使である小栗さくら氏^{おぐり}の進行による両氏の特別対談を下記のとおり開催します。

記

1 日時 令和8年11月15日（日） 13時～16時30分（開場12時15分）

2 会場 関ヶ原ふれあいセンター大ホール（関ヶ原町関ヶ原894-29）

3 定員 400名 ※事前予約（先着順）

4 参加費 無料

5 プログラム

（1）講演会

- ・講師 駿河台大学教授 黒田 基樹 氏
- ・時間 13時～14時
- ・演題 「秀吉の天下一統と羽柴秀次・小吉秀勝」
- ・内容 秀吉が天下一統をすすめていた時期、弟の秀長に次ぐ立場にあったのが、のちに閑白を継承する、甥の秀次でした。そしてその実弟に小吉秀勝がいました。その小吉秀勝は、秀次が近江を領国にしていた時に美濃大柿領を統治し、秀次が尾張を領国にしていた時に美濃岐阜領を統治し、秀次の与力として存在していました。秀次と小吉秀勝は、美濃と密接な関係にありました。ここではそうした秀次と小吉秀勝の動向について取り上げます。
- ・講師 東洋大学非常勤講師 柴 裕之 氏
- ・時間 14時15分～15時15分
- ・演題 「秀長死後の豊臣政権と徳川家康」
- ・内容 羽柴秀長の死に伴い、豊臣政権の運営はどのようなようになっていったのでしょうか。また、そのなかで徳川家康は政権においてどのような立場にあり、どのような活動をおこなったのでしょうか。当該時期の家康の立場と活動から、秀長死後の豊臣政権についてみていきたいと思います。

(2) 対 談

- ・登壇者 駿河台大学教授 黒田 基樹 氏
東洋大学非常勤講師 柴 裕之 氏
- ・進行役 歴史タレント・関ヶ原観光大使 小栗 さくら 氏
- ・時 間 15時30分～16時30分
- ・テーマ 「秀吉・秀長兄弟から関ヶ原へ」
- ・内 容 「豊臣兄弟」の放映に伴う、羽柴秀長研究の進展により、豊臣政権は秀吉・秀長兄弟のもとで展開し、そして「天下一統」が実現したことがわかってきました。そこで改めて秀吉・秀長兄弟について明らかになってきたことを確認するとともに、秀長死後のそれがどのようなになり、関ヶ原合戦へと至っていったのかを語ります。

6 申込方法 【申込フォーム】

<https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p8745/>（記念館公式HP）

【往復はがき】

〒503-1501 岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55

岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画連携係「特別企画」担当者宛

※住所、氏名、電話番号、申込人数（1枚につき、2人まで）を記載してください。

※申込人数が2人の場合は、2人目の氏名も明記してください。

7 申込期間 11月8日（日）まで

※往復はがきでお申込みの方は、11月6日（金）記念館必着でお申込みください。

【関ヶ原研究会の概要】

- 目 的 関ヶ原に関連する研究状況の発信、若手研究者の支援等を通じて関ヶ原研究を促進し、調査研究フィールドや観光地としての関ヶ原古戦場の魅力や関心を高める。
- 設立日 令和5年10月14日
- 会 長 小和田哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館館長
- 会 員 関ヶ原に関連する研究実績のある者（大学教授、歴史研究家、博物館学芸員等）
- 内 容 関ヶ原研究の活性化に向けた各種取り組みを実施
 - ①関ヶ原関連研究に関する情報発信
関ヶ原関連の最新研究状況・成果等を広く発信する講演会、討論会の実施
 - ②若手研究者の育成支援
関ヶ原研究若手研究者支援事業や若手研究者への研究発表機会の提供等の実施
 - ③学芸員ネットワークの形成
関ヶ原の戦いに関連する博物館等の学芸員における研究状況や展示、収蔵品等に関する情報交換の実施
 - ④関ヶ原研究への興味・関心の向上に向けた活動

【講師及び登壇者】

駿河台大学教授 黒田 基樹

（経歴）

1965 年東京都生まれ。早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒業。博士（日本史学）。膨大な史料を博搜し、戦国史の実相を明らかにする研究に精力を注いでいる。大河ドラマ「真田丸」「豊臣兄弟！」の時代考証を務める。

（著書）

『羽柴秀長と藤堂高虎』（NHK 出版）『羽柴秀長とその家臣団たち 秀吉兄弟の天下一統を支えた 18 人』（KADOKAWA）『秀吉を天下人にした男 羽柴秀長』（講談社）『羽柴秀長の生涯 秀吉を支えた「補佐役」の実像』（平凡社）『小早川秀秋（シリーズ・実像に迫る 5）』（戎光祥出版）ほか多数



東洋大学非常勤講師 柴 裕之

（経歴）

1973 年東京都生まれ。東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻博士課程満期退学、博士（文学）。戦国・織豊期の政治権力と社会についての研究を専門とする。大河ドラマ「どうする家康」「豊臣兄弟！」の時代考証を務める。

（著書）

『徳川家康 境界の領主から天下人へ』（平凡社）『清須会議 秀吉天下取りへの調略戦』（戎光祥出版）『織田信長 戦国時代の「正義」を貫く』（平凡社）『秀吉と秀長 「豊臣兄弟」の天下一統』（NHK 出版）編著に『図説 豊臣秀吉』『図説 徳川家康と家臣団』（戎光祥出版）ほか多数



進行役 歴史タレント・関ヶ原観光大使 小栗 さくら

（経歴）

東京都生まれ。博物館学芸員資格を有する。歴史タレント、歴史小説家としてテレビ、ラジオ、講演会等で活動し、日本の歴史文化の魅力を広く発信している。関ヶ原観光大使を務めるほか、歴史系アーティストユニット「さくらゆき」のボーカルとしても活動。

（著書）

『余烈』（講談社）『読んで旅する鎌倉時代』（講談社）『どうした家康』（講談社）歴史雑誌『歴史研究』において歴史小説『相照』を執筆中

